

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

理事リレーコラム	1	高校生の理学療法体験	12
第28回山形県理学療法学会大会	2	施設紹介	13
倫理委員会からのメッセージ	4	フレッシューズ紹介	15
活動報告	5	事務局より・編集後記	16



理事コラム

学術局兼教育局担当
北村山公立病院

大原 隆 洋

平成29年度より専門領域推進部の理事（学術局兼教育局）を拝命いたしました大原隆洋です。会員の皆様におかれましては、常日頃から専門領域推進部の研修会や勉強会に多数ご参加いただき、この場を借りて感謝申し上げます。駄文ではございますが、この度の「理事コラム」を担当させていただきますので宜しくお願いいたします。

さて、当たり前のことですが医療の世界は日進月歩で成長を続けています。そんな医療に従事する理学療法士として、対象となる方や地域のために生涯学習、自己研鑽をつづけることは至極当然の責務であり疑う余地も無いでしょう。しかし、現状は免許取得者の増加もありわれわれ理学療法士の質について問われる時代となっています。そのなか、日本理学療法士協会は質の向上を目指し、新人教育プログラムをはじめとする生涯学習システムの変革や認定・専門理学療法士の育成を行っております。当部は協会の活動に呼応する形で、スポーツ・運動器・内部障害・神経系・難病・小児・ウィメンズヘルス・生活支援・予防の9つの専門理学療法領域で主に研修会や勉強会の企画・開催を行っております。立ちあげ当初は主に高名な先生をお呼びした研修会の企画・開催が主でしたが、今年

度からは各領域での勉強会の開催に力を入れ、認定理学療法士取得までの助言の場を提供するなど活動の幅を広げております。特に職員数が少ない職場の方などは、一人で悩まず是非ご参加いただき勉強していただければと思います。また、各専門領域には登録会員という形で一緒に勉強して頂く方を募集しております。是非とも多くの領域への登録をお願いいたします。今後の活動としては、更に自律的な活動を行い各種研修会・勉強会を行いながら自己研鑽に励む予定です。また、可能であれば研究・調査など学術的な活動を行いたいと考えております。そして、当会会員の認定・専門理学療法士の育成に取り組んでいく予定です。

最後になりましたが、われわれ理学療法士は当然のごとくリハビリテーションの Specialist として対象者に対する能力が求められます。しかし、Generalist として社会全体への貢献に対する能力も求められてきています。一つの専門領域にとらわれず広い視野と高い視点で自己研鑽に努めていくことが、われわれの質を向上し、対象となる方や社会全体の貢献につながると考えます。そのためにも、皆さまのご理解とご協力を頂きながら一緒に精進していければ幸いです。

趣 意 書



『理学療法評価の再考 ～臨床的推論の側面から～』

第28回山形県理学療法学術大会

大会長 田 中 基 隆

山形医療技術専門学校

理学療法士の使命は対象者が地域で生活し続けることを支援することです。しかし、それを可能にするには、それぞれの対象者に応じた個別の評価・分析能力が必要であり、これこそが「結果を出すための理学療法」において重要な鍵になると考えます。

我々、理学療法士が提供できるサービスには無限の可能性があると信じています。しかしながら、若手においては診断名に、経験のある者にとっては経験則に固執しすぎた画一的な評価・分析が行われているのではないかと指摘もあります。それぞれの対象者に応じた適切な評価・分析にもとづく、「結果を出すための理学療法」が遂行できなければ、我々は時代と共に不要な存在にも成りえると考えます。

そこで、本学術大会では、テーマを「理学療法評価の再考 ～臨床的推論の側面から～」とし、今だからこそ、対象者を支援するための評価・分析として重要となる臨床的推論を原点に立ち戻って皆さまと一緒に考え直す機会にしたいと思います。

特別講演では、臨床的推論の重要性を再認識するために大工谷新一先生より近年の理学療法を取り巻く現状と社会に求められる理学療法士の能力についてご講演いただきます。また、シンポジウムでは、様々な領域において臨床で理学療法を提供している3名の先生方をお招き致します。瀬尾章央先生には運動器領域での臨床的推論、大原隆洋先生には神経系領域での臨床的推論、海老名陽介先生には内部障害での臨床的推論についてご講演いただき、臨床での知識の使い方や考え方の構築を図りたいと思います。さらに、教育講演として山岸茂則先生より臨床的推論を行うにあたり必要な知識である運動学や神経生理学的考察にもとづく理学療法の提供についてご講演していただきます。

市民公開講座では井上聡子先生より、理学療法分野のみならず、社会的に注目されている「ウイメンズヘルス」についてご講演していただきます。本学会が有意義な時間となり実り多い学会となることを願い、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 28 回山形県理学療法学会大会日程

日 時：2019 年 6 月 15 (土)～16 (日)

場 所：山形市民会館 大ホール

〈1 日目〉 2019 年 6 月 15 日 (土)

8 : 30 ~	受付開始
9 : 00 ~ 10 : 00	教育講演
10 : 00 ~ 10 : 15	休憩
10 : 15 ~ 10 : 45	開会式
10 : 45 ~ 11 : 00	休憩
11 : 00 ~ 12 : 00	特別講演
12 : 00 ~ 12 : 50	昼食休憩
12 : 50 ~ 14 : 20	シンポジウム
14 : 20 ~ 14 : 40	休憩
14 : 40 ~ 15 : 40	市民公開講座
15 : 40 ~ 15 : 50	休憩
15 : 50 ~ 16 : 50	ポスター発表 I
16 : 50 ~ 17 : 00	休憩
17 : 00 ~ 18 : 00	平成 31 年度定期総会
19 : 00 ~	懇親会

〈2 日目〉 2019 年 6 月 16 日 (日)

8 : 30 ~	受付
9 : 00 ~ 10 : 00	口述発表 I
10 : 00 ~ 10 : 15	休憩
10 : 15 ~ 11 : 15	口述発表 II
11 : 15 ~ 11 : 30	新人賞表彰・次期学会大会長挨拶
11 : 30 ~ 11 : 40	東北理学療法学会大会長挨拶
11 : 40 ~ 11 : 55	休憩
11 : 55 ~ 12 : 55	ポスター発表 II
13 : 00 ~ 13 : 10	閉会式

理学療法士のスピリッツ

倫理委員会委員長 神先 秀人

山形県立保健医療大学

最近、理学療法士が関与した医療事故やハラスメント、窃盗、わいせつ行為などの報道が、メディアやインターネットで多く見かけるようになりました。理学療法士の数が急激に増えているため、確率的に考えて、犯罪や誤った行動を起こす人が増えているのは仕方がないことかもしれません。しかし、このことは、同じ仕事に就く理学療法士の仲間として、悲しくもあり、残念でもあります。

私は、入学してきたばかりの1年生を対象とした「理学療法学概論」の中で、「接遇について」教える授業を1コマ担当しています。僭越ながら、その授業の紹介をさせていただきます。

授業は、1グループ5、6名の小グループに分かれての学生同士による討論と発表が主な内容です。テーマは、「臨床の場で茶髪はOKか」、「患者様と呼ぶべきかそれとも患者さんと呼ぶべきか」、「理学療法士は先生と呼ばれるべきか」といった理学療法士としてのマナーや態度について考えさせるものですが、最近、「電車やバスでのシルバーシートは必要か」というテーマを加えました。

このテーマは、十数年前にモラルやマナーに関連した記事をインターネット上で探していた時に出会った、九州大谷短期大学教授で、フランス演劇研究者でもある梁木靖弘氏の講話録からいただいたものです（現在は、残念ながらインターネット上で見つけることはできませんでした）。講話のテーマは、「私は恋愛が嫌いだ」というもので、それだけでも大変興味をそそられるものでしたが、中身も非常に深く、多くの重要な問いを投げかけてくれるものでした。そこに繰り返し示されていたのは、我々に直接入ってくる情報には、隠された様々な側面や背景があり、それらを知らないと誤った判断をしてしまう危険性があることと、「主体的に生きるとは」どういうことかをいくつかの事例を通して紹介されていました。当初は、この講話に対する感想をレポート課題として使用していましたが、しっかり読まずに「主体性」を「自主性や自分勝手に生きること」と混同して解釈する学生が多かったため、最近では、本文中に出てくる「シルバーシートの必要性」について

授業内で討論させ、フィードバックするとともに、この講話録を読んで「主体的に生きるとは」どういうことかについて、レポートを書くように指示を変えています。

さて、講話の中で、梁木教授は、シルバーシートの存在意義について、人を思いやる気持ちがあれば、本来は必要のないはずのものなのに、席を譲らない人が増えてきたため、設けざるを得ない、しかし、逆に、シルバーシートに座っている若者は白い目で見られ、シルバーシート以外の席であれば、高齢者や身体が不自由な人を前にして平気で座っている若者は、何も責められることはないというのはおかしいではないかという問題提起をしています。本来は、思いやりや優しさから出てくるべき行為が、規則だから行動する、決まりさえ守っていればよいといった、他人から非難されないためだけの行動になっているのではないかという問いかけではないかと思いました。規則（ルール）を設けることで、人の行動基準が、本来持っている純粋な動機から弯曲されてしまう怖さを感じました。

昨今のセクシャルハラスメントやパワーハラスメントなどに対する問題意識の高まりは、差別や権威による不当な支配をなくし、互いを尊重しあう、より良い社会に向かうための健全な流れだと思います。しかし、セクシャルハラスメントやパワーハラスメントに該当する言葉遣いや行動パターンが特定され、それにのみ基づいて行動するようでは、それはそれで、シルバーシートと同じような課題を残すのではないかと危惧しています。

種々の病気や障がいでの悩み、苦しんでいる弱い立場にある人を支援する職についている私たち理学療法士としては、やはり、どんな人に対しても、常に相手を思いやる気持ちをもって接したいものです。

理学療法士を目指すことを決断した時の純粋な優しさや正義感をいつまでも忘れずに持ち続けていただくことを願って止みません。

平成 30 年度 第 2 回生涯学習部研修会 活動報告

今年度新入職員及び新人教育プログラム未修了者を対象に、研修会を開催いたしました。

日 時：平成 30 年 9 月 1 日（土） 9：30 ～（受付 9：00）

会 場：山形医療技術専門学校

参加者：51 名

内 容：選択テーマ 5 テーマ

9：40～10：40 「E－1 臨床実習指導方法論」	山形医療技術専門学校	杉原 敏道 先生
10：50～11：50 「D－2 生涯学習と理学療法の専門領域」	鶴岡協立リハビリテーション病院	齋藤 高興 先生
12：50～13：50 「C－4 高齢者の理学療法」	介護老人保健施設美の里	井上 由香 先生
14：00～15：00 「C－1 神経系疾患の理学療法」	公立置賜総合病院	阿部 宣行 先生
15：10～16：10 「D－3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む）」	山形医療技術専門学校	長沼 誠 先生

先輩からの言葉

第 2 回研修会に参加された皆様、講義をして下さった先生方、準備をしてくださった生涯学習部の皆様、大変お疲れ様でした。1 日にわたる研修会でしたが、受講された皆様は集中して講義を受けられていました。また、理学療法士 1 年目の皆様においては、第 1 回の研修会でお会いした時以上に、いきいきとされている印象を持ちました。第 2 回研修会の 5 つのテーマは多岐にわたるものでしたが、理学療法士として働く上で、どこかで必ず関わる機会のあるテーマだったように思います。

私は臨床 6 年目となりますが、研究論文を読む場合や臨床実習指導方法等、6 年前に受講した資料を見返し、参考にさせて頂きました。今回の研修テーマは今後につながる内容ばかりだったように思います。

山形済生病院 舟山 悦子

新入会員の感想

この度の2回目の新人教育プログラムは1回目につき、今後の理学療法士として欠かす事が出来ない貴重な内容でした。

今回のプログラム内容は「臨床実習指導法論」「生涯学習と理学療法の専門領域」「高齢者の理学療法」「神経系疾患の理学療法」「理学療法の研究方論」という理学療法のみならず医療界で今後キーワードとなる部分が沢山盛り込まれてありました。特に「生涯学習」についての御講義は理学療法士として患者様へ最善の医療を提供するために専門性を追求し続けることの必要性を学びました。また、「高齢者」「神経系疾患」の御講義は当院でも関連深い内容でした。対象者と関わる中で疾病の理解・心情に関する先生方の経験談踏まえた基礎知識を教わることができ理学療法の幅がさらに広がりました。

この度の「学び」は理学療法士としての土台となる部分を構築することが出来ました。そして、この土台がさらに上へと積みあがるよう今後理学療法士としてレベルアップしていきたいと強く思うようになりました。

今後の山形県の理学療法士の発展のため新人同士でも切磋琢磨し全体の底上げできるよう邁進して参ります。

山形ロイヤル病院 卯野 雄大

今年度から理学療法士として勤務させていただいており、2回目の生涯学習部研修会に参加させていただきました。今回の研修会では高齢者に対する理学療法や神経系疾患についての知識についてのほか、認定理学療法士や専門理学療法士になるための過程や専門領域について多く学ぶことができました。自分の勤務する病院は神経系疾患が多い回復期病院であり、特に脳画像の見方やニューロリハビリテーションについての講義が勉強になりました。臨床現場では脳画像を上手く活用し、予後や症状の予測をしながらリハビリを進めていく必要があると感じました。

また、臨床実習指導方法論についても学ぶことができました。将来、自分も学生に教える立場になったとき学生と指導者とのコミュニケーションを大切に、学生の特徴に合わせた指導をしていこうと感じました。自分の技術向上と指導者になったときに学生に教えられるようになるため、知識を深めていかなければならないと感じました。

三友堂リハビリテーションセンター 池田 梓

講義の様子



受講された皆様、大変お疲れ様でした。

(文責：皆川 進)

テーマ：在宅生活における福祉用具の選定や家屋評価について考えよう

日 時：平成 30 年 8 月 10 日（金）19：00～20：30

会 場：北村山公立病院

参加者：12 名

【勉強会内容】

今回は急性期～回復期から 10 名、生活期から 2 名参加して頂き、2 グループに分かれて事例検討を行った。心身機能・構造や活動に固執せず、環境因子及び個人因子に着目して在宅生活における福祉用具の選定や家屋評価などの意見交換を行った。急性期～回復期に携わるセラピストからの視点と、生活期に携わるセラピストからの視点を共有することができ、新たな気づきも得られた。病院と在宅では、福祉用具を含めた環境が異なることを改めて考えることができ、日々の業務を見直すきっかけとなった。

今後は理学療法士としての一方的な生活支援だけでなく、生活領域からみた理学療法も再考していく必要があると考えられた。

（文責：遠藤）



平成 30 年度 第 4 回 庄内支部 勉強会 活動報告

テーマ「脳卒中片麻痺患者における装具療法の考え方

～長下肢装具を使用した歩行トレーニングの実際～」

日 時：平成 30 年 9 月 27 日（木） 19：00 ～ 20：50

会 場：鶴岡協立リハビリテーション病院

第 4 回庄内支部勉強会は、脳卒中片麻痺の装具療法をテーマに鶴岡協立リハビリテーション病院脳卒中認定理学療法士高橋智佳先生を講師に開催されました。

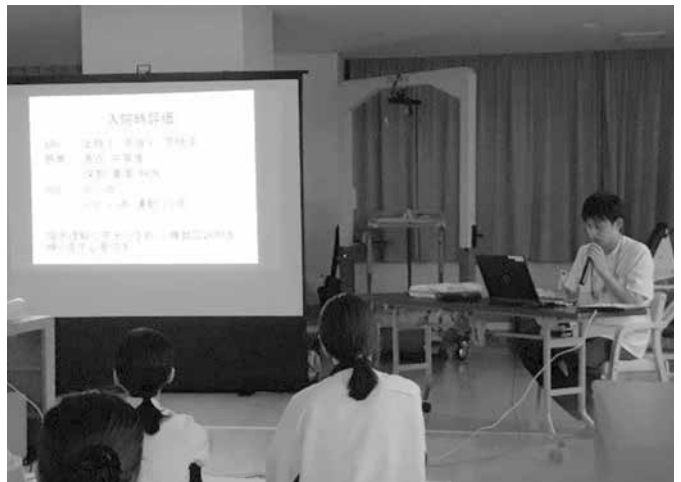
歩行における運動学・神経学的機構、片麻痺患者の歩行に対する装具の役割といった装具療法を考えるために重要な基礎的事項や理論的な背景の話から、実際にどのように歩行トレーニングや装具の選定を行っているかという臨床的な話まで、中身の濃い講義をしていただきました。また櫻山梢先生より鶴岡協立リハビリテーションでの装具療法の進め方の紹介を、渡部貴之先生と齋藤るみ先生より実際に装具療法を行っている症例の紹介を行っていただき、臨床の場で実際にどのように考え、装具療法に取り組んでいるかを知ることができ、大変勉強になりました。

「長下肢装具は理学療法士が運動療法を行ううえでの治療ツールであり、ただ装着するのではなく運動療法を組み合わせで行うもの」「定期的にロックを外して立位、歩行の評価も行うべき」という言葉が印象的でした。年々進化している装具療法ですが、装具はあくまでツールであって、どのように使うか、姿勢や動作をどう評価するかは理学療法士として常に考えていかなければならない点であり、その基本は変わらないのだと強く感じました。

講義の最後には事前に各病院、施設から募った質問事項への回答も頂きました。装具を使用している中での疑問や、カットオフ、装具選定時の判断基準、装具の修理はどこに依頼すればいいのか、金額はいくらくらいかかるか・・・など、様々な質問に対して丁寧にお答えを頂きました。このような疑問・質問をざっくばらんに言い合えることも、庄内支部勉強会のいいところではないかと思います。発表いただいた鶴岡協立リハビリテーション病院の先生方、参加された先生方、お疲れさまでした。

（文責：長谷部 裕美）





義肢・装具・車いす
他整形外科医療器具製造・販売
(有)エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881

思いやりリハビリ・まごころケア
(有)福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話 (0234) **26-1725**
FAX (0234) **26-6780**

福祉機器・介護用品販売レンタル／車いすオーダー制作



(有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4
TEL(0237)83-5525/FAX(0237)85-5454

E-mail: assist@corp.email.ne.jp



◆山形県厚生省労働省指定◆
(有)渡部義肢

◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下肢装具、上肢装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL(0235)25-9366 FAX(0235)25-9364

福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



株式会社タマツ
TAMATSU

本社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房(有)

座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など

東置賜郡高島町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>

平成 30 年度 第 5 回 庄内支部 勉強会 活動報告

「第 5 回 庄内支部勉強会 一症例検討会 (北庄内 2 回目)」

日 時：平成 30 年 10 月 24 日 (水) 19:00 ～ 20:45

会 場：庄内余目病院

参加者：28 名

今年 5 月に同会場にて開催した「一症例検討会」(北庄内)、2 回目の勉強会が開催されました。脳梗塞による左片麻痺、合併症に心不全を呈する症例の各病期における治療経過を担当セラピストより報告頂いた後に、ディスカッションという流れで会は進められました。初めに急性期の担当であった大須賀 唯香氏より前回の振り返りから退院までの経過を報告頂き、続いて生活期の担当 新野 冬子氏よりサービス利用開始～現在までの経過を報告頂きました。自宅内の歩行や生活動作、環境など映像資料も多く退院後の自宅での様子が分かり易い内容だったと思います。ディスカッションでは歩容の変化に対する対応や環境調整、福祉用品の選定に至るまで、様々な視点から意見が交わされました。退院後、活動性の低下から約 2 週間程で廃用が進む、という報告もありますが、生活期においても ADL・IADL の状況を生活環境にて確認し、予後を見据えた PT 評価を行う重要性を再認識する事が出来ました。

病期間の連携には顔が見える関係性も大切だと思います。庄内支部が開催する各研修会をぜひご活用下さい。
(文責：矢島 慎也)



平成 30 年度 第 6 回 庄内支部 勉強会 活動報告

「軽～中等度認知症を呈する方の生活を支えるための取り組みの実際」

日 時：平成 30 年 11 月 22 日 (木) 19:00～20:45

会 場：日本海酒田リハビリテーション病院

参加者：38 名

年内最後となる今回の庄内支部勉強会では認知症をテーマとして、急性期・回復期・生活期の各病期で活躍されている 3 名の先生方に発表していただきました。鶴岡市立荘内病院森和浩先生からは急性期病院での認知症ケアチームでの取り組みや先進施設の視察報告についてのお話がありました。更に、BPSD の捉え方や身体拘束の弊害についても大変学ばせていただきました。回復期からは日本海酒田リハビリテーション病院 佐藤有加先生より安静度向上に向けたセンサー評価について実際の症例紹介を通して話していただき、活動性を引き出す取り組みについてとても参考になりました。介護老人保健施設のぞみの園 粕谷朋紀先生からは生活期での関わりとしてケアスタッフと情報共有し、活動に着目したアプローチを行い、ターミナルから一時脱却できた症例を発表していただきました。

後半は患者の居室を想定した環境調整、身体機能面の評価に関するグループディスカッションを行いました。それぞれ異なる病期のセラピストの知識を共有することで、患者の動作能力に配慮しつつ活動性を最大限に引き出す意見が多く発表されていました。今回の勉強会で認知症を呈する方との関わりは、いかに患者の自由を制限せずに活動に反映させていくかが重要であると感じました。発表された先生方を始め、参加された方々本当にお疲れ様でした。(文責：佐藤 竜乃介)



高校生の理学療法体験



【参加した高校生の感想】

- ・ 以前から理学療法士になりたくて、理学療法体験に応募しました。現場を見るのが初めてでしたので、実際に働いている姿を見れた事で仕事へのイメージが沸いてきました。理学療法士になれるように、これから受験勉強頑張ります。
- ・ 丁寧に指導していただきありがとうございます。障害をもたれた方のこれからの人生を左右する大切な仕事だと感じました。進路選択で迷っていましたが、理学療法士になりたい気持ちがより高まってきました。
- ・ 今まで使ったことの無いものなども体験させてもらいました。使う人に合わせてたくさんの種類の器具があり少しずつ違いを知ることができました。今日の体験で今までより、もっと理学療法士について知れたし、楽しさや大変さも感じることができました。
- ・ 理学療法という名前は知っていたけれど、どんな仕事をしているのか、何をしているのか、何を使っているのかを知らなかったので実際に体験させて頂いて詳しいことがわかって楽しかったです。
- ・ 私は膝のけがで理学療法に興味を持ち将来、就けられたらいいなと思っていました。今回の体験を受けさせてもらい、ますます興味がでました。身体の不自由な方のために色々な視点からサポートできる理学療法士はすごい仕事だと思いました。
- ・ 説明や質問を通して理学療法士という1つの職種でも幅広い分野で様々な人達と関わり、仕事内容も1パターンではないことを知り、ますますこの仕事に就きたいと思えました。杖や車椅子なども実際に体験することができ楽しみながら理学療法について触れることができました。
- ・ 車椅子に乗ったのは初めてで、真っすぐ進むのでさえとても難しいということがわかりました。また、理学療法士になるには、相手のリハビリのお手伝いだけでなく、その方の変えを知ることが大切だということも学びました。
- ・ ずっと理学療法士に憧れていて実際に近くで見ることができ、やっぱり理学療法士になりたいなと思いました。今までリハビリを受けている方は、辛そうにリハビリをしているイメージでした。でも、どの方も笑顔で楽しそうにリハビリを受けいれていて、ケガをして歩くことが大変になって辛い思いをした方も笑顔にできる理学療法士は、本当にすごいなと思いました。私も、実際に何度もケガをして悔しい思いもたくさんしてきました。その時に助けてもらったのが理学療法士で、私も少しでもいいから大変な思いをしている方の力になりたいと思っていて、今日色々な体験をさせていただいて改めて強く思いました。これから理学療法士を目指していく中で、まず大学受験、そこから実習など大変なことも多いと思います。でも辛い思いをしている方も笑顔にするという夢を追いかけて頑張りたいと思います。今まで知らなかった理学療法士の役目や器具の働きなどたくさんを知ることができ、一歩夢に近づけた気がしてすごく嬉しかったし、本当に楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 今日約2時間体験してみて、まずさまざまな患者さんがいる中でその人に合った治療法を行っていることがわかりました。始めに体験をした、立てるようにする機械は実際にやってみるとすごく怖かったです。また、私たちは普段垂直に立っていないことがわかりました。実際に患者さんと接してみると、最初はどのようにして良いかわからないことが多くあり戸惑いましたが、先生達が患者さんと接するときは笑顔で話しかけていたので、自分も実践してみました。やはり患者さんに接する時は笑顔でないとイケないと実感しました。今回は片足を切断した患者さんの治療を見学しましたが、負担がかかるのは足だけでなく、体全体なのだと思います。リハビリをしている患者さんは暗い気持ちでなく、「治して元気になる」という気持ちが強いと思いました。実際に今回の患者さんも「治したい」と話して下さいました。患者さんとのコミュニケーションを通して、自分が将来どうあっていきたいか考えるきっかけを感じることができました。短い間でしたが、これからの生活に活かせることがたくさんありました。ありがとうございました。

施設紹介

朝日町立病院

当院は、昭和33年に朝日町健康保険直営朝日病院として開設され、昭和51年に朝日町立病院と名称が変更され現在に至ります。町内唯一の入院施設のある病院で、病床数は一般40床、地域包括ケア10床の計50床です。リハビリテーション室はPT3名、OT2名、リハ助手2名（内1名看護師）の6名体制となっています。

小規模な病院ですが、入院や外来のリハビリテーションはもちろんのこと、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーション、町の健康教室への協力など幅広く業務に取り組んでいます。朝日町は高齢化率が約40%と県内2番目に高いですが、町の基幹病院として町民の皆様が安心していつま

でも元気に暮らせるよう、地域に密着したリハビリテーションサービスを提供できるように日々努めております。



山形県立新庄病院

当院は最上二次保健医療圏唯一の中核病院であり、388床（うち地域包括ケア病床40床）の病床数を有する総合病院です。1945年に町立病院から始まり、70年以上の歴史があります。来たる2023年には新病院開院を予定しています。スタッフは、理学療法士が10名、作業療法士が5名、言語聴覚士が3名配置されており、脳血管疾患や整形外科疾患をはじめ、内科系疾患、外科周術期等、多種多様な入院・外来リハビリテーションに関わっています。近年は院外における地域への活動も増えてきました。

“「仁・愛・和」の心をもって、地域住民に信頼と安心を与える医療を提供する”という当院の理念の下、スタッフ一丸となっ

て地域に根ざしたリハビリテーションを提供しています。今後ともご指導、ご協力の程よろしくお願い致します。



施設紹介

医療法人 宏友会 介護老人保健施設うらら

当施設は平成8年に酒田市ほくぶ地区本楯に開設致しました。上田診療所を中心とした「在宅医療」を基盤としながら「在宅復帰」、「在宅生活の継続」を支援しております。

リハスタッフはPT 3名、OT 6名、ST 1名の10名体制、入所と通所リハ、訪問リハにてリハビリを提供しております。地域包括支援センターと協働し介護予防領域にも積極的に関わっております。これからも地域との関わりを大切にしながら、地域に根付いた施設として取り組んでいきたいと思っております。



白鷹町立病院

白鷹町立病院は、平成9年10月に現在の位置に移転し、健康福祉センター・訪問看護ステーション・社会福祉協議会が併設された施設です。病室からは、飯豊山、白鷹山など、豊かな自然環境が一望できます。

病床数は70床（一般）で、リハスタッフ数は理学療法士2名（1名は訪問看護ステーション兼務）、作業療法士1名で、脳血管疾患や整形疾患、廃用症候群などの患者様の外来・入院リハビリテーションを行っています。

「地域住民から信頼される病院」という病院の基本理念のもと、病院内はもちろん、町内の介護施設の職員やケアマネジャーとの連携と情報共有を心がけながら、日々

の業務を行っています。





フレッシャーズ紹介.....

内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



池田 梓

- ①三友堂
リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③尾花沢市
- ④つくば国際大学
- ⑤サッカー、ライブに行くこと
- ⑥患者様のため全力をつくせる
PTになれるようがんばって
いきます。



樋口 小百合

- ①三友堂
リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③南陽市
- ④国際医療福祉大学
- ⑤旅行
- ⑥患者様が笑顔になっていただ
けるように日々努力してい
たいです。



遠藤 彩加

- ①三友堂病院
- ②1年目
- ③川西町大塚
- ④青森県立保健大学
- ⑤音楽 相撲
- ⑥毎日笑顔で頑張ります



医療機器・福祉用具販売レンタル

TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 トーク

日医器連通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434

E-mail: took@coral.ocn.ne.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短距離を含む)
・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士
安達武雄
安達ブレイス製作所

山形市江保3丁目15-1
☎(023) 681-0456

山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

あなたの笑顔が見たいから 株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 生活住環境整備山形

〒990-0805 山形市檀野前13-2
TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

●定期的なマイページの確認をお願いします

日本理学療法士協会ホームページ内の「マイページ」の定期的な確認をお願いいたします。「マイページ」内の、会員専用コンテンツでは、教育、学術、職能、福利厚生情報が掲載されております。また、異動申請、会員情報の更新などの各種申請が可能です。

●会員異動届の手続きは済んでいますか

他都道府県理学療法士会からの転入、自宅住所および勤務先の変更、改姓された方は、「マイページ」より手続きをお願いします。

●会員区分について

会員の皆様の中で、自宅会員として異動申請される方がいます。日本理学療法士協会において、会員区分として、勤務先をもつ会員は勤務先会員となります。「マイページ」にて会員区分をご確認の上、現在の登録と異なる方は異動申請の手続きをお願いいたします。

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」を指定しております。会費納入の漏れがなくなり、手数料も無料です。「マイページ」よりお申し込みください。

●新人教育プログラム修了には、マイページでの修了申請が必要です

マイページ内「生涯学習管理」メニュー中の、「生涯学習管理」―「履修状況確認」―「新人」―「修了申請」にて、手続きをお願いします。新人教育プログラムを修了していない場合、認定・専門理学療法士取得に必要な生涯学習ポイントの取得ができません。また、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダーの取得要件を満たしませんので、ご注意ください。



オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバテクノ

■山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社(仙台)・荏内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター



有限会社 山形義肢研究所

——営業品目—— 義手・義足・コルセット・補装具
補助ステッキ・松葉杖・車いす
整形医療器具
代表取締役 植松 茂夫
山形市飯田五丁目5番39号
電話 (023) 632-5214

編集後記

かわら版第19巻を発行いたします。今年度の各部活動報告が上がってきました。各部員の皆様、お忙しい中お疲れ様でした。会員の皆様もどんどん研修会に参加してスキルアップしていきましょう。

※近年、施設と自宅とで会員登録が重複している方が非常に多くなっています。施設勤務の方で自宅にも情報誌等が送られてくる方は、日本理学療法士協会のホームページ内「マイページ」より手続きをお願い致します。

三友堂リハビリテーションセンター 島貫

■発行 / 一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者 / 高橋 俊章

■編集者 / 鈴木 健太

■広報部 / 三友堂リハビリテーションセンター

〒992-0057 山形県米沢市成島町3丁目2番90号
TEL (0238) 21-8100 FAX (0238) 21-8119
E-mail : ptkouhoubu@yahoo.co.jp